
《歯科用練成器》

クルクル2

取扱説明書

Dentronics

株式会社 **デントロニクス**

06.04

1. はじめに

このたびはデントロニクスの印象材料練和器クルクル2をお買い求めいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、クルクル2の操作・取扱方法、メンテナンス等を説明するものです。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。そして、正しい操作・取扱・メンテナンスによって、本機の機能を十分に発揮されるようお願いいたします。

(お読みになったこの取扱説明書は、本機の近くの判りやすい場所に大切に保管してください。)

クルクル2の特長

- 石膏やアルギン酸に対し、気泡の少ない安定した品質の練和を可能とします。
- ラバーボールは使いやすい前傾角度にセットされ、ワンタッチ着脱式です。
(ラバーボールは標準で2個付属します。)
- 練和材の量や種類に合わせて適性な回転速度が得られるフットコントローラー付きですから、両手が自由に使えます。
- 汚れを拭き取りやすい本体形状です。
- 回転が滑らかで使いやすく、操作はとても簡単です。

目次

1. はじめに	P. 2
2. 医用電気機器の使用上(安全及び危険防止)の注意事項	3
3. 本機を安全にお使いいただくために	4
4. 設置と準備	5
5. 使用方法	6
6. メンテナンス	7
7. 仕様	8

2. 医用電気機器の使用上(安全及び危険防止)の注意事項

厚生省業務局長通達(業発 第495号昭和47年6月1日付)

1. 熟練した者以外は、機器を使用しないこと。

2. 機器を設置するときは、次の事項に注意すること。

- (1) 水のかからない場所に設置すること。
- (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ホコリ、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生じるおそれのない場所に設置すること。
- (3) 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など、安定状態に注意すること。
- (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
- (5) 電源の周波数(Hz)と電圧(V)及び許容電流値(A)(又は消費電力)に注意すること。
- (6) 電池電源の状態(放電状態、極性など)を確認すること。
- (7) アースを正しく接続すること。
(ユニット、チェアー、X線装置、エアーコンプレッサーなど消費電力の大きいものは、必ず第3種以上の接地工事を施すこと。)

3. 機器を使用する前には、次の事項に注意すること。

- (1) スイッチの接触状況、極性、ダイヤル設定、メーター類などの点検を行ない、機器が正確に作動することを確認すること。
- (2) アースが完全に接続されていることを確認すること。
- (3) すべてのコードの接続が正確でかつ安全であることを確認すること。
- (4) 機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこすおそれがあるので、十分注意すること。
- (5) 患者に直接接続する外部回路を再検討すること。
- (6) 電池電源を確認すること。

4. 機器の使用中は、次の事項に注意すること。

- (1) 診断、治療に必要な時間、量を超えないように注意すること。
- (2) 機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
- (3) 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講じること。
- (4) 機器に患者が触れることのないよう注意すること。

5. 機器の使用後は、次の事項に注意すること。

- (1) 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻した後に、電源を切ること。
- (2) コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなど、無理な力をかけないこと。
- (3) 保管場所については、次の事項に注意すること。
 - 1) 水のかからない場所に保管すること。
 - 2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ホコリ、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
 - 3) 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など、安定状態に注意すること。
 - 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- (4) 付属品、コード、導子などは、清浄にした後、整理しておくこと。
- (5) 機器は次回の使用に支障のないよう、必ず清浄にしておくこと。

6. 故障したときは、勝手にいじらず適切な表示を行ない、修理は専門家にまかせること。

7. 機器は改造しないこと。

8. 保守点検

- (1) 機器及び部品は、必ず定期点検を行なうこと。
- (2) しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

9. その他必要な事項。

- (1) 取扱いを誤ると、危険が生じるので、付属の取扱説明書を十分に精読の上、使用すること。

3. 本機を安全にお使いいただくために

●本機を安全にお使いいただくために、特に次の危険防止事項について細心の注意をお払いいただき、機械の故障、火災、人身事故等が発生しないよう心がけてください。

1. 本体の寿命を延ばすため、また、あらゆるトラブルを防ぐため、練和終了後や未使用時は必ず電源スイッチを切ってください。
2. 長時間の連続使用は、なるべくお避けください。なお、連続使用されると本体に熱を持ちますが、これは異常ではありません。
3. 使用中は、本体を動かしたり衝撃を加えたりしないでください。
4. ラバーボールが回転している状態での清掃は危険です。必ず電源コードをコンセントから抜いて行なってください。
5. スパチュラの金属部分は、練和によって摩耗して、刃物のようになることがあります。十分ご注意ください。
6. 本取扱説明書の各項目に記された「警告」や「注意」を、よくお読みください。

●下記の項目に関しましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

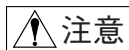
1. 当社または当社指定の業者以外による取り付け・移設・改造・保守・修理等に基づく故障・損傷・人身事故
2. 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷・およびこれらに基づく人身事故
3. この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を無視された結果に基づく故障・損傷・人身事故
4. この取扱説明書に記載されている電源・設置環境等本機使用条件を逸脱した状況による故障・損傷・人身事故
5. 火災・地震・水害・落雷等天災による故障・損傷・人身事故

●本取扱説明書では、各内容に関連する危険防止事項および注意事項を、下記の記号により表示しています。



警告

：人身事故や機器の大きな損傷・故障につながる恐れのある危険事項を説明しています。



注意

：機器の損傷や故障、各種トラブルにつながる恐れのある注意事項を説明しています。

4. 設置と準備

- ① 使いやすい高さと十分な広さの台の上に本体を設置し、足元にフットコントローラー（付属品）を置きます。
- ② 本体右側面の電源スイッチを、OFFにしておきます。
- ③ フットコントローラーのプラグを、本体背面のコネクタに差し込みます。
- ④ フットコントローラーの電源プラグを、コンセントに差し込みます。
- ⑤ アースコード（付属品）を本体底面のアース端子に固定し、一方をアースに接続します。



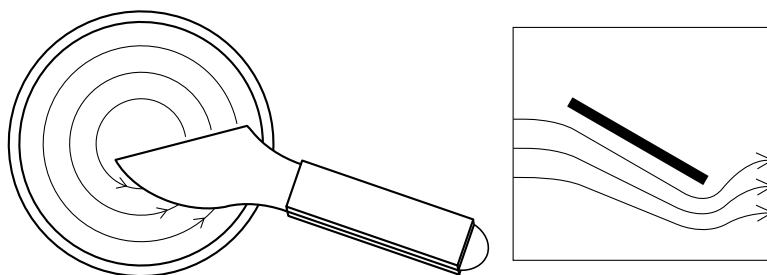
1. 感電の防止のため、アース接続を行なってください。
2. 各接続が不十分な場合、火災、感電などの事故や故障の原因になる恐れがあります。



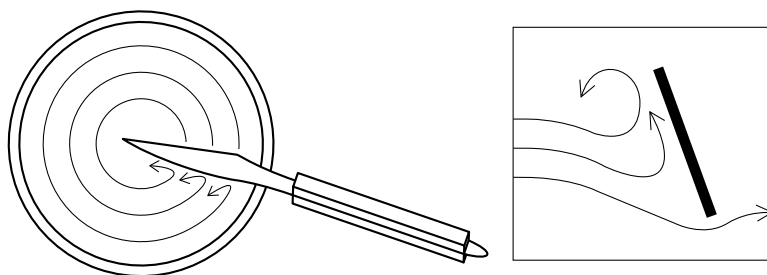
1. 設置に際しては、次のような場所を避けてください。
高温・多湿の場所、ゴミ・ホコリ等の多い場所、傾斜・振動・衝撃等のある不安定な場所、水のかかる場所
2. 本体の上に物を置かないでください。不具合や故障の原因になります。

5. 使用方法

- ① ラバーボールに、水とパウダーを入れます。
- ② スパチュラで数回攪拌して、水とパウダーをなじませます。
- ③ ラバーボールを、本体上面の受け台にセットします。
- ④ 本体右側面の電源スイッチを、ONにします。
※本体正面のランプが緑色に点灯します。
- ⑤ フットコントローラーを踏んでラバーボールの回転を徐々に上げながら、練和材に対しスパチュラを斜めに当てて、押さえつけるようにして練和します。
※スパチュラの角度は、必ず左へ倒す（寝かせる）ようにします。右へ倒すと、練和材が飛び出してしまいます。



- ⑥ スパチュラの角度を立てて、練和材をせき止めるようにして集めます。
※スパチュラの角度は、必ず多少左へ倒すようにします。右へ倒すと、練和材が飛び出してしまいます。



- ⑦ 回転を止めて、集めた練和材をスパチュラに載せ、ラバーボールの縁でしごくようにしてラバーボールに戻します。
- ⑧ 上記⑤～⑦を、気泡がなくなるまで数回繰り返します。



1. ラバーボールのセットは、確実にこなしてください。緩んでいると、練和時に飛び出すことがあります。
2. 回転は徐々に上げてください。急激に回転を上げると、ラバーボールが飛び出す恐れがあります。
3. 練和回転中は、スパチュラを練和材に当て続けてください。スパチュラを放すと、遠心力で練和材が飛び出します。
4. 本機は石膏、アルギン酸用の練和機です。他のパウダーの練和に使用すると、十分な性能が得られなかったり本機の故障や損傷につながったりする恐れがあります。



1. 使用後は、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
2. 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

6. メンテナンス

① ラバーボールは、練和終了毎に必ず水洗いしてください。

※ラバーボールに古い練和材が付着したまま次の攪拌を行なうと、正常な練和材が得られません。

② 受け台は、水で濡らしたガーゼや中性洗剤を含ませた布による拭き取り清掃を行なってください。

※受け台に練和材等が付着していると、ラバーボールのセットがしにくくなります。。



1. 清掃は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。



1. ラバーボールには、薬液による消毒や清掃を行なわないでください。
2. ベンジンやシンナーによる清掃は、行なわないでください。本体その他の材質を侵します。

7. 仕様

名称：	クルクル2
型式：	SDM2
電源、消費電力：	AC100V 50/60Hz、90W
回転数：	0～850±50min ⁻¹
外形寸法：	W138×H200×D225mm (Hはラバーボール装着時)
質量：	本体: 約2kg、ラバーボール: 約180g
付属品：	ラバーボール(2個)、スパチュラ(1本)、フットコントローラー(1台)、アースコード(1本)



お客様による修理は危険です。お買い上げの販売業者、当社指定の販売業者・修理業者、または 当社へご連絡ください。

仕様・外観等は予告なく変更することがあります。

発売元 **株式会社 デントロニクス**

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-30-15 TEL (03) 3209-7121 FAX (03) 3232-6764
www.dentronics.co.jp

製造販売元 **城田電気炉材株式会社**

業許可番号: 13B2X00051
〒165-0033 東京都中野区若宮2-55-3 TEL (03) 3330-6370 FAX (03) 3330-6332
www.shirota-denki.co.jp